

■米国：FERC、MISOの年単位の容量市場設置を含む新たな市場規則を承認

連邦エネルギー規制委員会（FERC）は2012年6月11日、ミッドウエスト ISO（MISO）が提案していた供給力確保の強化を目的として年単位の容量市場の設置を含む市場規則案を承認した。新たな制度では、MISO エリアを7つのゾーンに分け、各ゾーンに確保すべき最低の供給力が設定される。MISO は既に月単位の容量を取引する市場を設置しているが、これを年単位の容量市場に置き換える。小売事業者（LSE）は、ゾーン毎に決済される年単位の容量市場や相対契約、自社電源などにより、必要量の供給力確保が義務付けられるが、容量市場への参加は任意である。本制度は2012年10月1日より適用され、2013年6月から2014年5月までの供給力を対象とする最初の容量市場の入札は、2013年4月に実施される予定である。